

2.自分の意志では止められなくなる。

薬物乱用の最も恐ろしい特徴は、薬物の“依存性”と“耐性”

依存性 ⇨ 一回ぐらいならと思っても、また使いたくなり、繰り返し使ううちに薬物の使い方のコントロールがきかなくなってしまう。

耐性 ⇨ 使用を繰り返しているうちに、それまでの量では効き方がうすれていく。

一回だけと思って始めた人も、薬物の“依存性”と“耐性”によって使用する量や回数がどんどん増えていき、どうしようもない悪循環に陥ります。もはやそうになると自分の意思だけでは止めることはできません。

